

平成 24 年度 第 11 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 25 年 3 月 19 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 20 分

場 所：県庁 10 階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，総務課長，経営企画課長 ほか
病院 各県立病院長，中央病院副院長，各県立病院看護局長，
各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成 24 年度決算見込み（1 月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 24 年度の決算見込み（1 月末現在）について示す。

(2) 日報速報値について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月中旬までの入院患者数，新規入院患者数等について，平成 22 年度及び平成 23 年度の累計との比較を示す。また，平成 20 年度から平成 23 年度までの県立 3 病院における新規入院患者数と入院診療単価の相関について説明する。

【質疑等】

管理者：三好病院は今年度から D P C 対象病院となったが，これまでの出来高でも，新規入院患者数と入院診療単価との間に弱いながらも相関があるので，今後，7 対 1 入院基本料や施設基準を取得していけば，もっと強い相関になると思う。また，出来高との比較も可能になると思う。

(3) 病院事業会計の将来推計について

【説明】病院局経営企画課

病院の改築に伴い，減価償却費や起債元利償還が大幅に増加し，また，改築に伴う運営費も大幅な増となる。改築に必要な資金を確保するため，診療収益増加の必要性について説明する。

【質疑等】

病院局：収支と資金の推計に当たり，経費については，三好病院と海部病院の改築で増えることが見込まれているが，人件費が増えることは見込んでいないか。

病院局：職員が増えることによる人件費の増加は見込んでいない。また，三好病院と海部病院の診療収益は，平成 25 年度当初予算額としており，増加は見込んでいない。

病院局：平成 25 年度の人件費についてはどうしているのか。

病院局：予算については、平成 24 年 9 月末のものに、ある程度の増員分を足している。

病院局：平成 25 年 4 月からかなりの増員があり、それでもまだ職員は足りないので、13 億円以上に収益を上げていかないと厳しいと思う。

病院局：13 億円は最低限の数字だと考えている。

中央病院：これまで中央病院の収益が伸びてきたのは、急性期病院に対して、診療報酬の改定が良い影響を与えていたからであるが、平成 26 年度と平成 28 年度の診療報酬改定では、中、小規模の病院向けに配分されるというのがおおよその予測であり、それに合わせられるかが重要だと思う。また、DPCにおいて、調整係数が見直しによってなくなった時には、機能評価係数Ⅱの占める割合が大きくなるので、まずは在院日数を減らしていかないといけないと思う。今後は、診療報酬の改定が必ずしも追い風にはならない可能性もあり、また、消費税の増税も診療材料費等にかかってくるので、考えながらやっていかないといけないと思う。

(4) その他

・医薬品共同交渉及び診療材料交渉結果について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

診療材料の価格交渉の状況、平成 25 年度の診療材料の共同購入等について説明する。

【質疑等】

中央病院：診療材料の購入等を包括委託している病院もあるが、やり方を含め、どうなのだろうかと気になるところはある。委託料が高いのはもちろん分かっているが。

管理者：全面委託のSPDについては、開始 2、3 年は有効であっても、その後はマイナスという話もあるので、全面委託については疑問がある。

中央病院：会計制度の見直しの動きはどうなっているのか。

病院局：財務会計システムを新しいものにする予定であり、現在、入札手続等の準備中である。